

# 事前評価書

		年度	R1
		整理番号	
事業名・路線名等	(単)道路改良事業 主要地方道 <small>やばけい いんない</small> 耶馬溪院内線 <small>しぎら</small> 鷗良工区		事業主体 大分県
所在地	中津市耶馬溪町大字深耶馬		
事業概要	事業の目的	当該路線は、沿線住民の生活道路として利用されている重要な路線であり、また、多くの観光客が訪れている一目八景や岳切溪谷への観光ルートであるが、当該区間は、幅員が狭小・線形不良のため、車両が離合困難な状況で走行に対する安全性が確保されていない状況となっている。このため、道路改良の実施により、通行車両の走行性・安全性の向上を図るものである。	
	事業内容	【計画延長・幅員】 計画延長L=640m、幅員W=5.5(7.0)m 【道路区分】 第3種第4級 【設計速度】 V=40km/h 【計画交通量】 900台/日 【現況幅員・交通量】 W=4.0~8.5m、233台/日(H27センサス)、928台/日(H26.11実測) 【重要構造物】 橋梁2橋(山移川部分L=22m、折戸川部分L=27m)	
	事業費	C=510百万円	
事業の実施計画	完成予定年	着手から7年(令和7年度)	
	事業段階毎の実施計画	1年目 路線測量、道路詳細設計、構造物設計 2年目 用地測量、用地買収、構造物設計 3年目 用地買収、工事 4年目 工事 5年目 工事 6年目 工事 7年目 工事	
事業の必要性	必要性・緊急性	・周辺住民(108世帯、208名)が中津市街地へ生活道路としての利用している。 ・周辺には一目八景や岳切溪谷などの観光地があり、観光シーズンには多くの観光客が訪れている。また、本区間内に位置する温泉施設(もみじの湯)にも多くの観光客が訪れている(年間約2万人)。 ・コミュニティバスの運行路線(3便/週)である。 ・今回事業区間は幅員狭小(最小幅員W=4.0m)であり、普通車同士の離合も困難な箇所がある。また、線形不良のため大型車の通行にも支障が生じている状況である。	
	整備効果	・線形不良、幅員狭小の解消により、走行性・安全性が向上 ・地域の生活道路としての利便性の向上 ・観光道路として主要観光地(一目八景、岳切溪谷等)へのアクセス強化 ・避難所(深耶馬公民館)へのアクセス強化	
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	B/C=0.1 (観光シーズンB/C=0.2)	
	工法の妥当性	・道路法、道路構造令、道路橋示方書に適合した工法を採用 ・道路線形、施工性、経済性等の観点から総合的に判断した案を採用。	
	コスト縮減	・アスファルト・コンクリート・砕石は再生資材を利用する。	
	環境等への配慮	・地形改変の少ない計画としており、自然環境へ及ぼす影響は少ない	
事業実施環境	事業の実効性	・中津市より整備に対する要望書が提出されている。	
	事業の成立性	・道路法第29条に基づき事業を実施。	
	事業の特殊性	・特になし。	
対応方針	・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい。		

# 事業箇所位置図

